

令和2年12月に、児童・保護者・教職員に学校評価アンケートを実施しました。ご協力ありがとうございました。調査のまとめをお知らせするとともに、今後の教育活動や指導に活用していきます。

### 校訓

「深めよう考えを 鍛えよう身体を 育てよう豊かな心を」

### 保護者から学校へ

- コロナ禍で大変な中、子どもが楽しい学校生活を送ることができるように、工夫して行事などを行っていただいています。
- 子どもが「学校が楽しい」と言っています。ケガをした時や、分散での行事開催など、学校の対応もよいと思います。
- いつも子どもたち主体の活動をしていただき感謝します。
- コロナ禍で大変な中、丁寧にご指導いただきありがとうございます。
- 困難を抱える子どもたちに、より多くの支援と励ましをお願いします。
- 帰る前にトイレに行く時間の確保や学校保管の教材の精選など、登下校時の負担の軽減をお願いしたいです。
- 図工などで必要なものを用意するときの期日が分かりにくいです。利用する日をできるだけ具体的に伝えてほしいです。



昨年度の終わりに始まった新型コロナウイルス感染症の流行に伴って、マスクの着用や咳エチケット、手洗い・消毒の励行など、これまでの日常が一変しました。ご家庭にも毎朝の検温を始めとするお子様の健康管理や、感染症予防対策へのお声掛けなど、ご負担をかけることが多くなっていることと思います。ご協力に感謝申し上げます。おかげさまで今年度本校では、学習活動への大きな影響もなく、形を変えながらも多くの行事を実施することができました。



### 児童アンケートから

#### ○ 学校が楽しい

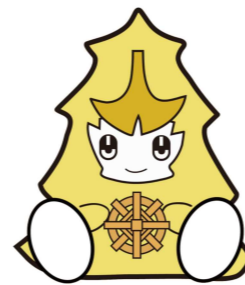
全校で96%の児童が、「学校が楽しい」「学校が少し楽しい」と回答しています。昨年度より3%増えています。楽しい理由を「友達がいるから」「友達と遊べるから」など、友達との関わりをあげる児童が多かったです。しかし、「楽しくない」と答えた児童もいます。その児童の理由をみると、「もっと家にいたいから」「雨の日は行きたくないから」「登下校の歩きがいやだから」「友達がいないから」「勉強が嫌だから」など理由がさまざまです。それぞれの悩みを聞き、寄り添い励ましながら「安心できる居場所づくり」に今後も努めます。

#### ○ 授業はわかりやすい

「授業はわかりやすいですか」という問いに、91.9%の児童が、「わかりやすい」「少しわかりやすい」と肯定的に答えています。また「先生や友達の話をしっかり聞いていますか」の問いにも、97%の児童が、肯定的に答えています。コロナ禍でも前向きにとりくむ子どもたちの姿勢が見て取れます。

#### ○ あいさつや返事はよくできている

3年連続で約90%の児童が、「できている」「少しできている」と肯定的に答えています。一方「あまりできていない」「全然していない」と答えた児童の数には変化が見られません。会釈を含めたあいさつを交わし合うための働きかけが必要です。



ハラショくん

児童や保護者による評価のグラフは、学校ホームページでご覧いただけますので、ご参照ください。

### 保護者アンケートから

#### ○ 子どもは楽しく学校へ行っている

95.2%の保護者が、「子どもは楽しく学校へ行っている」「おおむね楽しく学校へ行っている」と回答しています。これは、児童が「学校が楽しい」と回答している割合とほぼ同じです。また先生は子どものよい面を認め励ましの言葉をかけているかの問いに「できている」「おおむねできている」と回答した保護者は95.8%と多くなりました。コロナ禍にあっても、お互いを認め合う学級づくりを続けてきた成果だと思えます。今後も温かい学級の雰囲気づくりを目指していきたく思います。

#### ○ 子どもは家で意欲的に学習しているか

「できている」「おおむねできている」と回答した保護者は、55.6%で微増となり、44.4%の保護者が、「できていない」「あまりできていない」と回答しています。ここ数年、学年が上がるに従って「あまりできていない」と回答する保護者の割合が増える傾向にありましたが、今年度6年生については減少しています。研修の機会を増やしたり学年間での情報交換を活発に行ったりして教職員の指導力を高め、「分かるから楽しい」「楽しいからもっと学びたい」というように前向きに学習に取り組む子どもたちが育つような授業と自学を促す取組を実践していきたく思います。

### 今後の課題、Q&A

「原っ子が輝く(原輝)」

学校づくりのため、今後ともご支援・ご協力をお願いします。以下、いくつかの質問にお答えします。

- Q1 コロナ禍で学校へ行く機会が減っていて、子どもの様子が分かりません。現在の学習状況や、昨年と大きく変わったところなどを教えてください。
- A1 分散登校や1日7時間授業などで工夫しながら教育活動を進めた結果、現在の学習状況に大きな遅れはなく、3学期で十分本年度の課程を終えられる予定です。また、子どもたちを活動の主体にした授業づくりの取組は変わりませんが、この字の座席配置はせず、全席前向きで隣と一定の間隔を取って授業を行っています。ペア学習やグループ学習を順次再開しましたが、マスクを着用し、短時間に留めるようにしています。給食中も全員前向きの席です。
- Q2 クラブ活動がなかったり、行事が中止や内容変更となりました。来年度についてはどのようになりますか？
- A2 今後臨時休校がなければ、クラブ活動の時間を確保できるように計画を立てます。行事については、まだまだ3密を避けた新型コロナウイルス感染症への対策を考慮する必要があると考えています。そのため、今年度の行事を参考に計画を進めていきます。
- Q3 コロナ禍が続き、子どもの心が心配です。学校を訪問している臨床心理士のカウンセリングを受けるには、どのような手続きが必要ですか？
- A3 月に3回程度、不定期ですが、本校には学校カウンセラーが訪問しています。お子様のことで相談したいことがある場合は、担任に希望することを伝えてください。(予約状況によってカウンセリングまで少し時間がかかることがあります。)



おほちゃん